

海外情報



ノンウエブズ・マーケット特約

■北米・日本

世界的高騰でPET 繊維値上げ

北米と日本の繊維メーカーは、エチレン・グリコールや精製テレフタル酸などPET（ポリエステル）原材料の価格急騰分の相殺を目的とするPET 繊維の値上げを発表した。欧州の繊維メーカー各社も3月中の値上げを計画している。

北米、欧州を本拠とするコーサ社は、値上げ発表時にPET 原材料のコストが予想以上に増加し、その速度を増した、と述べている。短期的、長期的にこの傾向は強まっており、これはとくに最近の原油高騰と生産能力の問題が原因とみられる。

コーサ社は北米でPET ステープル繊維製品の価格を10～12% 値上げし、ウェルマン社も北米の同繊維価格を12～14% 値上げすると発表した。

日本では、東レがPET とナイロン繊維を5～10% 値上げすると発表している。そのほかでは、帝人、東洋紡などもPET の値上げを行うと発表している。

■北米・欧州

原反、原材料メーカーが値上げ

北米、欧州の原反メーカーは、原材料メーカーによる値上げの数ヶ月後、値上げを発表した。加工業者は、値上げに踏み切るか否かを状況を見て判断する。

値上げのもっとも大きな要因はイラクにおける戦争である。需要と供給の不均衡が原材料価格を圧迫しているが、戦争全体が5倍の悪影響を与えていると、材料購入者である大手サニタリーメーカーは述べている。同メーカーは一部の素材の値上げはやむをえないとしている。

欧州のウェットワイパーの加工業者は、原反価格が第3四半期以降5%以上増加していることを理由に、値上げを顧客に納得してもらうのは著しく困難であるという。

プライベート製品のバイヤーは値下げを要求し続け、ブランド製品の顧客もこれ以上の値上げを拒否している。しかし、ブランド製品の顧客が原反を供給することで、間接的に加工業者を救う事態も考えられる。

■北米

PP メーカーがさらに値上げ

北米のPP（ポリプロピレン）メーカーは、02年12月に0.03ドル/ポンドの値上げをした後、03年2月にさらに0.03ドル/ポンド値上げすると発表した。

プラスチックのコンサルタント企業、フィリップ・タウンゼント・アソシエーツ社は、PP市場が供給不足の状況にあるため、全工場によるフル操業が続き、価格は年間を通じて上昇すると予想している。

北米第4位のPPメーカー、スノコ・ポリマー社は、現在のPPの高利用率と不当に低いマージンを考慮し、12月、2月に値上げを行う旨、顧客企業に通告した。フォルモサ・プラスチック社も将来値上げを行うと顧客企業に伝えている。

また、北米第9位のPPメーカー、フィリップス・スミカ社も0.03ドル/ポンドの値上げを進めている。PPは現在、不織布業界でもっとも重要な原材料であり、PP・ホモポリマーは合成繊維の約半分を占める主要ステープルとなっている。

■米国

原材料値上げが不織布業界に影響

大手樹脂・特殊化学製品メーカーは、原油、ガスなどのエネルギーコストが今後さらに上昇するとして、値上げを発表した。大手不織布メーカーも生産コスト増への対応策として、値上げに踏み切る計画である。

ニードルパンチ・織物メーカー、SI社は最近、織物、不織布の2生産部門で値上げを断行した。同社は今年3月にジオテキスタイルを5%値上げした。

この値上げは、生産コスト増加分をすべてカバーするものではないが、製品の品質維持のためにはやむを得ないとしている。同社製品の主要原材料であるPPの価格は昨年、30%以上値上がりした。

大手PETステープルメーカーは、原料油コスト増をカバーするために2回目の値上げを発表している。

ウェルマン社はPETステープルの11～14%の値上げを、DAKファイバー社は0.06ドル/ポンドの値上げを計画しており、2社ともに値上げを4月以降に実施するとしている。

ほかにも、化学メーカー数社がエネルギーコスト増加分の製品への上乗せを計画している。

■米国

不織布の輸入量が増加

米国の不織布輸入量は、過去5年間で初めて02年の輸出量を凌ぎ、10万tを超えた。しかしながら、輸出量も増加しており、フィラメントベース素材の輸出量は10万tを超えた。

フロアカバーを除く不織布の全輸入量は21.1%増加して、11万6,557tで、輸出量は10.1%増加の18万2,152tとなった。金額ベースでは、輸入額は16%増加して、4億3,780万ドル、輸出額は7%増加の7億5,980万ドルである。

米国調査局によれば、不織布の全輸

出量は過去5年で急増し、98年には107%増加して5万6,000tとなった。しかし、輸出量は増加しているものの、輸入量の増加と比較すると半分の53%増の11万9,000tに留まった。

カード式からスパンメルト素材への移行により、フィラメントベース素材が輸入も輸出もこの5年でもっとも著しく増加している。フィラメント素材の全輸入量は98年の3万7,000tから02年の8万tへと倍増した。

イスラエルからの輸入量は98年1万tから02年2万tへと倍増している。イスラエルの輸入はこの5年間で25%増え続けている。一方、輸入ではカナダが過去5年で急激に減少し、シェアは98年の12.6%から02年の6.8%まで落ち込んだ。

■米国

ティッシュ需要が増加

マーケット調査会社、RISI社によれば、米国の景気低迷にもかかわらず、02年のティッシュ需要は前年比で2%増加して720万tに達し、成長率は3%となった。国内の消費増加を反映して、米国のティッシュ生産量は3.6%増の740万tとなった。

ティッシュ生産能力も04年まで増加が予想されているが、1人当たりの消費が上昇し続けるかは疑問である。北米の1人当たりの使用率は世界一で、欧州12.6kg/年、日本以外のアジア1.1kg/年を圧倒し22kg/年である。

米国のティッシュメーカーは、さらなる成長を目指して新製品を発表し続けている。ワイパー部門は、昨年急激に成長した。世帯収入の増加により、03年、04年は米国のティッシュ需要は急増すると見られる。

総消費量は今後2年間で平均3%増加する見込み。メーカー各社は、積極的に新製品、とくに高付加価値製品を発表し続けると予想される。

■BBA ノンウーヴンズ社 (米国)

スピアリア・ノンウーヴンズ社買収

BBA ノンウーヴンズ社は、サウスカロライナ州のスピアリア・ノンウーヴンズ社を買収し、ファイバーウェブ、BBA、リーメイ各社の前従業員が設立したスピアリア社との長年にわたる特許権紛争に終止符を打った。

BBA社は1月2日、米国破産審査裁判所がBBA社とファイバーウェブ・フランス社、リーメイ社、スピアリア社との和解に入ったことを公表した。

2000年9月にBBAが独自に開発したスパンボンド技術を、サウスカロライナ州グレイ・コート of スピアリア社が無許可で使用したとBBAが主張し、裁判は始まった。

01年11月、裁判所はスピアリア社に対し、BBA社に400万ドルを支払うよう命じた。02年3月、スピアリア社は連邦破産法11章を申請、裁判は終了した。

BBAによれば、同社は買収により3,200mm幅のポリエステルスパンボンド生産ラインを獲得する。

■スパンテック・インダストリーズ社(米)

北米にスパンレース工場を建設

イスラエルのスパンレースメーカー、NR スパンテック・インダストリーズ社は、北米にスパンレース工場を建設すると発表した。

スパンテック社北米事業部の新副社長によれば、同社は積極的にこの計画を進めており、コネチカット州ハートフォードにオフィスを開設した。

スパンテック社では、一部の業界関係者とは異なり、スパンレースの過剰供給については心配していないという。消耗品用スパンレースに関しては、一部過剰供給の傾向があるが、差別化を図った製品については需要があると同社は見ている。

スパンテック社は、さまざまな繊維の使用と表面加工技術により、幅広い

製品展開ができるとしている。同社は現在、ブランド/プライベートレーベルの巨大ワイパー市場に製品を出荷している。欧州では、ニベアブランドのベビー用ワイパー向けに製品を提供している。

スパンテック社の経営状態は現在、良好で、イスラエルでは2拠点で3ラインを操業している。年間生産能力は1万4,000tである。

■RMEDインターナショナル社(米国)

エアレイド吸収体の紙おむつ販売

負債返済のためほぼ全資産を売却したRMEDインターナショナル社は現在、全米展開しているヘルスケアフードチェーン店での、エアレイド吸収体を使用した紙おむつの販売を通じて、市場での再起を図ろうとしている。

同社は3月にホール・フーズを始めとする各健康食品販売店で“マザーネチャー”紙おむつ製品の販売を開始したが、大手スーパーマーケットにも販売を拡張していきたいとしている。

新製品のパッケージは、長年業界で注目されてきた紙おむつエアレイド吸収体技術についてはあまり触れず、「世界で一番薄い紙おむつ」と「薄さ」の方を強調している。

ミディアムサイズの紙おむつの重量は20gで、一般的な製品と比較して15~20%軽い。同社ではこの紙おむつを、高品質と自然環境に配慮した製品として売り込んでいく予定。

赤ちゃんが丘の上の草地にウサギと蝶と座っている絵が描かれた包装には、マジックテープのように伸びて再取り付け可能なテープ、ソフトにフィットするウエストバンド、化学的接着剤/ラテックス不使用、均一な高吸収力、ラテックス不使用のギャザー、布の風合いのカバー、通気性のある側面、といった特長が書かれている。

また、この製品を購入することが、継

統的な木材供給に向けた森林保護と木材調達をサポートするとも書かれている。

■ BBA グループ (英国)

エアレイドやフィルター事業統合

BBA グループは、マテリアル・テクノロジー事業部の中に、エアレイド、吸収剤製品、フィルターの各事業部を統合した「アブソorbent・メディア・グループ」を設立すると発表した。

また、同社の発表で、2002年の同社総売上はわずかに下降したものの、営業利益は増加したことも明らかになった。

アブソorbent・メディア・グループは、コマ社の吸収体生産事業部の既存の専門技術を核に設立された。

イタリアと米国に工場を所有しているBBAグループは、00年にガスフィルターメーカーのAQFテクノロジーズ社を吸収合併した。同グループの新事業のターゲット市場は、エア・ウォーターフィルター、廃液管理、臭気制御分野である。

BBAのマテリアル・テクノロジー事業部は、02年売上が2%減少して5億710万ポンドとなった。主な原因は санитарリー市場での売上減少。売上低下にもかかわらず、営業利益は0.4%増の13.5%で、6,860万ポンドとなった。

санитарリー部門の02年の売上の伸びは、マテリアル・テクノロジー事業部総売上の約55%を占めたが、顧客株式所有率の変化や顧客からの外注比率の低下により、若干鈍化している。

■ BASF (独)

PolyTHF プラントを上海で着工

独BASFは、伸縮性繊維スパンデックスの原料となるPolyTHF(ポリテトラハイドロフラン)の世界最大のプラントを上海化学工業区で着工した。2004年末に完成の予定。

■ グルポ・マーベ社 (メキシコ)

ロックライン社と紙おむつ販売

メキシコの紙おむつメーカー、グル

ポ・マーベ社と米国のワイパーメーカー、ロックライン・インダストリーズ社は合併で、米国とカナダで紙おむつとトレーニングパンツを販売すると発表した。

新合併会社ヴァロール・ブランズ社は、メキシコのマーベ社新工場で生産した製品を、ロックライン社を通じて、米国市場で製品マーケティング、販売を行う。この合併会社の詳細については不明。

マーベ社は、これまでも大口顧客であるオランダのアホールド社、米国のウォルマート・ストアなどから、北米市場への進出を勧められていた。

米国デラウェア州を本拠とするヴァロール社は、03年に市場参入を果たしたばかりだが、ヴァロール社のビジネスパートナー2社の関係は良好である。

ちなみにマーベ社は、これまでロックライン社のワイパーをメキシコと南米で7、8年にわたり販売してきた実績がある。マーベ社とロックライン社は、株式の持合いは行わず、それぞれ別の事業体として存在していく。

■ 南寧チアオホン・ニュー・マテリアル社/ダン・ウェブフォーミング社 (中国)

中国でエアレイド2ライン新設

中国では現在、2社がエアレイドラインを建設中で、04年に2ラインがフル稼働に入ると中国国内のエアレイド生産量が80%以上増加することになる。

南寧チアオホン・ニューマテリアル社は、広西チワン族自治区の南寧に3,000万ドルを投じ、エアレイドラインを新設する。この新会社は、南寧シュガー社と、資金の25%を出資する国際共同企業体インターナショナル・エアレイド・グループとの合併。

ダン・ウェブフォーミング・インターナショナル社は、インターナショナル・エアレイド・グループの一員で、サーマ

ルボンドとラテックスボンドラインを新プロジェクトに供給する予定である。また、フレックスナー社とサンテックス社もドライヤー部品を供給する。

新ラインは秋に稼働開始の予定で、年間生産能力は1万~1万5,000tとなる見込み。これは南寧シュガー社にとって初の不織布ライン。同社は現在、糖類、パルプ、紙製品、 санитарリー製品を生産している。

また、香港ホンガオ社は4,300万ドルを投じ、香港に2,200mm幅のダン・ウェブフォーミング社製エアレイドラインを設置する計画である。

■ 暁星 (韓国)

スパンデックスを世界規模で増産

韓国大手繊維メーカーの暁星韓国は、ポリウレタン弾性繊維(スパンデックス)の世界展開に拍車をかける。中国・浙江省に増設を進めている年産能力1万tのプラントが近く完成するのに続き、米国とイタリアにも工場を建設する検討に入った。

■ コーロン (韓国)

スパンデックス増強

韓国大手繊維メーカーのコーロンは、ポリウレタン弾性繊維(スパンデックス)の生産能力を大幅に増強する。年末までに亀尾工場の年産能力を現在の約2,800tから1万tに増強する。品質も改善し、世界市場で普及拡大を狙う。

■ 東レセハン (韓国)

韓国・中国でPPスパンボンド増強

東レセハンは、PETフィルムおよびPPスパンボンドの生産能力を相次ぎ増強する。紙おむつを主力用途に需要が増えているPPスパンボンドは今年、亀尾市の工場に年産1万3,000tの設備を完成させる。

さらに同設備を来年には同1万9,000tまで増強する。2005~06年には中国に同2万tの設備を新設する計画で、同分野のアジア最大メーカーをめざす。